



2023年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 岡田 一男 TEL 03-3345-6111
定時株主総会開催予定日 2023年9月26日 有価証券報告書提出予定日 2023年9月27日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績(2022年7月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	42,393	64.6	2,205	182.4	1,566	302.2	1,746	276.7
2022年6月期	25,761	40.3	781		389		463	

(注) 包括利益 2023年6月期 1,695百万円 (432.7%) 2022年6月期 318百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	61.72		39.3	4.7	5.2
2022年6月期	16.38		13.5	1.1	3.0

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 百万円 2022年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	33,243	5,292	15.9	186.96
2022年6月期	40,372	3,596	8.9	127.08

(参考) 自己資本 2023年6月期 5,292百万円 2022年6月期 3,596百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	12,836	19	10,102	4,689
2022年6月期	5,737	160	6,543	1,931

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期		0.00		0.00	0.00			
2023年6月期		0.00		0.00	0.00			
2024年6月期(予想)				18.00	18.00		25.4	

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,769	3.8	3,386	53.5	2,501	59.7	2,002	14.6	70.75

(注) 物件の引渡時期による業績変動が大きいことから、第2四半期(累計)の連結業績予想の開示は見合わせ、通期のみの開始とさせていただきます。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期	28,306,000 株	2022年6月期	28,306,000 株
期末自己株式数	2023年6月期	76 株	2022年6月期	76 株
期中平均株式数	2023年6月期	28,305,924 株	2022年6月期	28,305,924 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、[添付資料]4ページの「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。なお、当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ間での内部取引によるものとなるため、個別業績及び個別業績予想の開示は省略いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(リース取引関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当期の概況

当連結会計年度（2022年7月1日～2023年6月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限をはじめ各種規制の緩和・解除に伴い、イベント等の開催や国内旅行需要の回復に次いで、インバウンド需要の急速な持ち直し等、経済・社会活動は回復基調で推移しております。一方で、海外経済やロシア・ウクライナ情勢による物価・原材料価格の高騰や、過度な円安による物価上昇、人手不足の長期化が懸念されており、先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループが属する不動産業界におきましては、首都圏の新築分譲マンション市場は、2023年上期（1月～6月）の供給戸数が1万502戸と前年同期（1万2,712戸）比17.4%減となったものの、東京都区部のシェアが46.7%と高水準となり、都心の超高額物件の突出した価格にけん引され平均価格8,873万円、㎡単価132.1万円とグロス、単価ともに上期過去最高値更新となりました。また契約率についても価格上昇にも関わらず依然堅調に推移しております（数値：不動産経済研究所調べ）。投資用不動産につきましても、アフターコロナを迎え、経済の回復と継続する円安や低金利環境を背景に、海外投資家から見る国内不動産は依然として魅力的と捉えられており旺盛な状態が続いております。

このような状況下当社グループでは、首都圏を中心とした分譲及び収益マンションの仕入活動の強化を行うとともに、物件開発、販売に努めました。

ホテル業界におきましては、国内需要の活性化に加え、2022年10月の「入国上限数の撤廃」等の水際対策の緩和により訪日外国人観光客数は増加しており、2023年6月には200万人超とコロナ前の約7割強まで回復し、宿泊施設の稼働率も順調に回復基調で推移しております（数値：観光庁調べ）。当社グループにおきましても、定期建物賃貸借契約を締結している一部ホテルの営業再開及び新規運営を開始いたしました。一方、販売用不動産に計上しておりました「京都プロジェクト」等11物件は売却しております。

また、不動産流動化事業（不動産のバリューアップを図り、収益性を高め、価値向上を図る事業）にも、着手しております。オフバランス化により、財務諸表の健全化を図りつつ、事業を取組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高は42,393百万円（前年同期比64.6%増）、営業利益2,205百万円（前年同期比182.4%増）、経常利益1,566百万円（前年同期比302.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,746百万円（前年同期比276.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、「ウィルローズ秋葉原」、「ウィルローズ南浦和」等合計121戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高5,786百万円（前年同期比55.4%増）、営業利益676百万円（前年同期比75.6%増）となりました。

[収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「王子Ⅲプロジェクト」、「恵比寿プロジェクト」、「板橋下赤塚プロジェクト」等、収益物件17物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高18,716百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益2,982百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部67物件140戸、東京都下5物件7戸、神奈川県9物件97戸、埼玉県4物件79戸、千葉県2物件3戸、茨城県1物件1戸、長野県1物件27戸、合計89物件354戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高837百万円（前年同期比69.1%増）、営業利益346百万円（前年同期は営業利益20百万円）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2023年6月30日現在のマンション管理戸数が3,827戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高473百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益46百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び「浅草花川戸プロジェクト」、「京都プロジェクト」等11物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高16,848百万円（前年同期は売上高480百万円）、営業損失605百万円（前年同期は営業損失1,131百万円）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高65百万円（前年同期比56.5%減）、営業損失15百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は33,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,129百万円減少いたしました。これは主に販売用不動産の減少14,814百万円、仕掛販売用不動産の増加4,065百万円、現金及び預金の増加2,780百万円によるものであります。

負債は27,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,824百万円減少いたしました。これは主に有利子負債の減少9,945百万円によるものであります。

純資産は5,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,695百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金が1,746百万円増加したことによるものであります。

これにより、自己資本比率は15.9%（前期は8.9%）、1株当たり純資産額は186.96円（前期は127.08円）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて2,758百万円増加し、4,689百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の減少額10,711百万円、税金等調整前当期純利益1,618百万円、支払利息764百万円を主要因として、12,836百万円の収入(前期は5,737百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入100百万円、投資有価証券の取得による支出300百万円、差入保証金の回収による収入123百万円、保険積立金の払戻による収入100百万円を主要因として、19百万円の収入(前期は160百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入7,288百万円、長期借入金の返済による支出19,380百万円、短期借入金の純増加額1,957百万円、社債の発行による収入1,480百万円、社債の償還による支出1,400百万円を主要因として、10,102百万円の支出(前期は6,543百万円の収入)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関係指標の推移

	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率 (%)	8.9	15.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	10.4	22.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	16.8

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により記載しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注5) 2022年6月期及び2023年6月期の時価ベースの自己資本比率につきましては、最終株式取引日である2022年6月30日及び2023年6月30日の終値より算出しております。

(注6) 2022年6月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)、インタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2024年6月期の連結業績につきましては、分譲マンション事業及び収益物件事業の二本柱を中心に推進し、売上高40,769百万円(前期比3.8%減)、営業利益3,386百万円(前期比53.5%増)、経常利益2,501百万円(前期比59.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,002百万円(前期比14.6%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題としており、業績に応じた利益還元を積極的に行うことを基本方針としながら、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保の充実等を勘案のうえ、総合的に決定する方針であります。

当期につきましては、内部留保の充実を図るため、無配当とさせていただきます。

また、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当金18円(中間1円、期末18円)を予定しており、この場合の配当性向は25.4%となる見込みであります。

当社は今後、株主への利益還元として、配当性向20%以上を目処として株主還元を目指していきたいと考えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を重視し、当面、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適時適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,963,253	4,743,919
売掛金	32,256	62,394
販売用不動産	17,276,290	2,461,460
仕掛販売用不動産	19,571,082	23,636,398
前払費用	579,155	862,891
その他	248,500	467,693
流動資産合計	39,670,538	32,234,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	158,663	158,663
減価償却累計額	△110,319	△116,004
建物及び構築物 (純額)	48,343	42,658
その他	73,249	84,921
減価償却累計額	△65,236	△68,198
その他 (純額)	8,013	16,723
有形固定資産合計	56,356	59,382
無形固定資産		
投資その他の資産	11,008	8,583
投資有価証券	4,130	304,557
長期貸付金	486,582	326,048
繰延税金資産	56,773	194,185
その他	636,307	485,002
貸倒引当金	△548,714	△368,937
投資その他の資産合計	635,079	940,856
固定資産合計	702,444	1,008,822
資産合計	40,372,982	33,243,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	538,417	712,848
短期借入金	8,988,000	10,946,000
1年内返済予定の長期借入金	2,541,046	8,574,159
1年内償還予定の社債	1,400,000	100,000
未払金	212,856	566,271
未払法人税等	78,003	36,051
未払消費税等	206,304	757,239
前受金	808,302	1,033,450
賞与引当金	8,910	9,711
その他	378,234	240,914
流動負債合計	15,160,074	22,976,645
固定負債		
社債	340,000	1,740,000
長期借入金	21,151,713	3,164,319
繰延税金負債	33,181	5,966
その他	91,034	64,459
固定負債合計	21,615,929	4,974,744
負債合計	36,776,004	27,951,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	△1,099,814	647,098
自己株式	△33	△33
株主資本合計	3,695,133	5,442,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230	657
為替換算調整勘定	△98,384	△150,511
その他の包括利益累計額合計	△98,154	△149,854
純資産合計	3,596,978	5,292,191
負債純資産合計	40,372,982	33,243,581

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	25,761,354	42,393,029
売上原価	21,689,835	36,530,731
売上総利益	4,071,518	5,862,297
販売費及び一般管理費	3,290,317	3,656,483
営業利益	781,200	2,205,814
営業外収益		
受取利息	11,539	2,408
受取手数料	9,919	7,070
解約精算金	—	6,129
為替差益	69,075	49,567
受取地代家賃	8,823	21,777
貸倒引当金戻入額	208,188	55,314
雇用調整助成金	16,971	1,495
その他	76,601	18,943
営業外収益合計	401,120	162,706
営業外費用		
支払利息	572,248	635,021
支払手数料	137,898	136,986
貸倒引当金繰入額	79,224	—
社債発行費	—	19,687
その他	3,421	10,051
営業外費用合計	792,792	801,746
経常利益	389,528	1,566,774
特別利益		
投資有価証券売却益	64,782	—
固定資産売却益	—	100,000
受取保険金	—	80,539
特別利益合計	64,782	180,539
特別損失		
固定資産除売却損	4,011	576
役員退職慰労金	—	100,000
ゴルフ会員権売却損	—	3,600
事業撤退損	—	24,501
特別損失合計	4,011	128,678
税金等調整前当期純利益	450,299	1,618,636
法人税、住民税及び事業税	65,807	36,350
法人税等調整額	△79,208	△164,627
法人税等合計	△13,401	△128,276
当期純利益	463,700	1,746,912
親会社株主に帰属する当期純利益	463,700	1,746,912

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	463,700	1,746,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,540	427
為替換算調整勘定	△65,912	△52,127
その他の包括利益合計	△145,452	△51,700
包括利益	318,247	1,695,212
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	318,247	1,695,212
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,924,376	2,870,605	△1,563,515	△33	3,231,432
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			463,700		463,700
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	463,700	—	463,700
当期末残高	1,924,376	2,870,605	△1,099,814	△33	3,695,133

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	79,770	△32,472	47,298	3,278,730
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				463,700
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△79,540	△65,912	△145,452	△145,452
当期変動額合計	△79,540	△65,912	△145,452	318,247
当期末残高	230	△98,384	△98,154	3,596,978

当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,924,376	2,870,605	△1,099,814	△33	3,695,133
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			1,746,912		1,746,912
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,746,912	—	1,746,912
当期末残高	1,924,376	2,870,605	647,098	△33	5,442,046

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	230	△98,384	△98,154	3,596,978
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				1,746,912
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	427	△52,127	△51,700	△51,700
当期変動額合計	427	△52,127	△51,700	1,695,212
当期末残高	657	△150,511	△149,854	5,292,191

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	450,299	1,618,636
減価償却費	59,571	53,380
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	79,224	△198,242
貸倒引当金戻入額	△208,188	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△956	801
受取利息	△11,539	△2,408
支払利息	572,248	635,021
為替差損益 (△は益)	△69,075	△51,444
雇用調整助成金	△16,971	△1,495
受取保険金	—	△80,539
役員退職慰労金	—	100,000
固定資産除売却損益 (△は益)	4,011	△99,424
事業撤退損	—	24,501
投資有価証券売却損益 (△は益)	△64,782	—
売上債権の増減額 (△は増加)	25,184	△30,053
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,107,006	10,711,427
前払費用の増減額 (△は増加)	△191,524	△273,372
長期前払費用の増減額 (△は増加)	4,393	4,000
未収消費税等の増減額 (△は増加)	4,682	△105,772
仕入債務の増減額 (△は減少)	251,057	174,349
未払金の増減額 (△は減少)	4,869	351,858
未払消費税等の増減額 (△は減少)	174,473	550,934
未払費用の増減額 (△は減少)	14,071	△44,554
前受金の増減額 (△は減少)	298,501	225,148
預り金の増減額 (△は減少)	△6,604	20,790
その他	△43,320	161,595
小計	△5,777,380	13,745,137
利息及び配当金の受取額	61,706	7,175
利息の支払額	△396,531	△764,725
雇用調整助成金の受取額	16,971	1,495
消費税の還付額	267,983	38,754
役員退職慰労金の支払額	—	△100,000
法人税等の還付額	101,818	—
法人税等の支払額	△12,409	△91,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,737,840	12,836,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	82,000	9,600
定期預金の預入による支出	△44,802	△28,400
担保預金の払戻による収入	80,000	—
担保預金の預入による支出	△80,000	—
会員権の売却による収入	—	900
有形固定資産の売却による収入	—	100,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△12,303	△5,265
出資金の回収による収入	203,556	470
出資金の払込による支出	△500	△200
債権譲渡による収入	—	70,000
貸付けによる支出	△350,975	—
差入保証金の回収による収入	26,347	123,747
差入保証金の差入による支出	△237,817	△48,902
保険積立金の払戻による収入	—	100,008
保険積立金の積立による支出	△3,855	△2,860
投資有価証券の売却による収入	306,192	—
投資有価証券の取得による支出	—	△300,000
その他の収入	193,065	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	160,908	19,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,494,776	1,957,384
長期借入れによる収入	7,633,101	7,288,813
長期借入金の返済による支出	△7,452,985	△19,380,082
社債の発行による収入	—	1,480,312
社債の償還による支出	△100,000	△1,400,000
リース債務の返済による支出	△31,706	△49,343
配当金の支払額	△77	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,543,108	△10,102,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,639	5,815
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	972,816	2,758,066
現金及び現金同等物の期首残高	958,534	1,931,350
現金及び現金同等物の期末残高	1,931,350	4,689,417

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

①リース資産の内容

従業員が使用するコンピュータ端末機（「その他」）であります。

②リース資産の減価償却の方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(借手側)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
1年内	305,474	184,274
1年超	2,261,748	705,473
合計	2,567,223	889,748

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、純粋持株会社としてグループ本社を置き、各事業会社は、それぞれが取扱う商品・サービスに関する戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「分譲マンション事業」（主に株式会社グローバル・エルシード）、「収益物件事業」（主に株式会社グローバル・エルシード、株式会社グローバル・キャスト）、「販売代理事業」（株式会社グローバル住販）、「建物管理事業」（株式会社グローバル・ハート）及び「ホテル事業」（主に株式会社グローバル・エルシード、株式会社グローバル・ホテルパートナーズ）の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	3,723,595	20,450,887	495,493	—	468,439	25,138,416
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	13,001	—	467,098	—	480,099
顧客との契約から生じる収益	3,723,595	20,463,888	495,493	467,098	468,439	25,618,516
その他の収益	—	175,600	—	—	11,973	187,574
外部顧客への売上高	3,723,595	20,639,489	299,476	467,098	480,413	25,610,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	196,016	—	—	196,016
計	3,723,595	20,639,489	495,493	467,098	480,413	25,806,090
セグメント利益又は損失(△)	385,208	2,395,064	20,855	47,045	△1,131,434	1,716,738
セグメント資産	8,868,655	13,132,469	250,719	416,665	18,271,213	40,939,724
セグメント負債	12,266,889	21,480,870	507,432	65,198	4,746,733	39,067,124
その他の項目						
減価償却費	15,088	31,205	4,444	108	2,101	52,948
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	7,160	—	—	7,160

	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高			
一時点で移転される財及びサービス	104,803	△196,016	25,047,202
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	—	480,099
顧客との契約から生じる収益	104,803	△196,016	25,527,302
その他の収益	46,477	—	234,051
外部顧客への売上高	151,280	—	25,761,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	△196,016	—
計	151,280	△196,016	25,761,354
セグメント利益又は損失(△)	△12,812	△922,724	781,200
セグメント資産	148,923	△715,665	40,372,982
セグメント負債	265,635	△2,556,755	36,776,004
その他の項目			
減価償却費	160	6,462	59,571
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	12,303	19,464

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△922,724千円には、未実現利益の調整額等1,556千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△924,281千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△715,665千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産7,704,542千円及びセグメント間取引消去△8,420,207千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する貸付金等であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△2,556,755千円には、各報告セグメントに配分していない全社負債5,350,339千円及びセグメント間取引消去△7,907,095千円が含まれております。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する借入金等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	5,786,268	18,534,075	837,908	—	16,835,854	41,994,106
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	13,243	—	473,321	—	486,565
顧客との契約から生じる収益	5,786,268	18,547,318	837,908	473,321	16,835,854	42,480,671
その他の収益	—	169,431	—	—	12,502	181,933
外部顧客への売上高	5,786,268	18,716,749	502,498	473,321	16,848,356	42,327,194
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	335,410	—	—	335,410
計	5,786,268	18,716,749	837,908	473,321	16,848,356	42,662,605
セグメント利益又は損失(△)	676,602	2,982,189	346,422	46,074	△605,239	3,446,050
セグメント資産	10,880,535	19,896,143	441,011	150,875	1,521,917	32,890,484
セグメント負債	7,276,266	20,059,089	404,722	75,166	246,697	28,061,942
その他の項目						
減価償却費	13,665	27,297	5,527	86	925	47,502
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	—	5,169	5,169

	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高			
一時点で移転される財及びサービス	10,284	△335,410	41,668,980
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	—	486,565
顧客との契約から生じる収益	10,284	△335,410	42,155,545
その他の収益	55,550	—	237,483
外部顧客への売上高	65,834	—	42,393,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	△335,410	—
計	65,834	△335,410	42,393,029
セグメント利益又は損失(△)	△15,651	△1,224,584	2,205,814
セグメント資産	77,179	275,918	33,243,581
セグメント負債	7,511	△118,063	27,951,389
その他の項目			
減価償却費	—	5,878	53,380
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	9,040	14,209

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,224,584千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額275,918千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産7,768,217千円及びセグメント間取引消去△7,492,299千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する貸付金等であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△118,063千円には、各報告セグメントに配分していない全社負債7,069,460千円及びセグメント間取引消去△7,187,523千円が含まれております。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する借入金等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)		当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	
1株当たり純資産額	127円08銭	1株当たり純資産額	186円96銭
1株当たり当期純利益	16円38銭	1株当たり当期純利益	61円72銭

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年6月30日)	当連結会計年度末 (2023年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,596,978	5,292,191
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち新株予約権)(千円)	(—)	(—)
普通株式に係る期末純資産額(千円)	3,596,978	5,292,191
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,305,924	28,305,924

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	463,700	1,746,912
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	463,700	1,746,912
普通株式の期中平均株式数(株)	28,305,924	28,305,924
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。